

5年

国語

は い く
俳句を学ぼう

5年

組

名前

①俳句を作るときの表現の工夫について話しています。①～④の()に当てはまる言葉を□から選んで書きましよう。

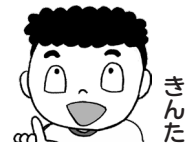
①俳句は五(七)(五)の(十七)音で(感動)を伝えるもので、季節を表す(季語)を入れて作る。

②様子や作る人の(気持ち)を直接表す(言葉)をなるべく(使わず)に表現する。

③さまざまな(表現)を試し、感動がより(伝わる)と思うものを選ぶ。

④(たとえ)を使ったり、言葉の(順序)を工夫する。
また、漢字、平かな、(かたかな)をうまく(使い分けて)表現する。

言葉・かたかな・五・伝わる・たとえ
十七・使わず・表現・七・使い分けて
季語・順序・感動・気持ち



※言葉は
それぞれ
一度しか
使えません。

②①～⑥の季語が表す季節を□に漢字で書きましよう。

①ほたる

夏

②みかん

冬

③月見

秋

④つくし

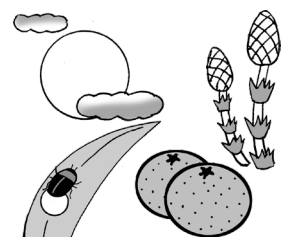
春

⑤こがらし

冬

⑥入道雲

夏



③①②の読みに当てはまる漢字を□から選んで、組み合わせさせて□□に書きましよう。

公正

なさはきをする。

・小説の構成を考える。

・この事実を後世に伝える。

・福利厚生が手厚い国。

②たいしよう

・小学生を対象としたアンケート。

・きんたと弟は対照的な性格だ。

後・対・正・厚・照・公・象・構・生・成・世



同じ読み方で、
意味のちがう
漢字の
組み合わせだね。

※同じ漢字を何度も使えます。